

東京都商工会報

題字は、山下光一前名誉会長

2006年
11月号

Vol.
272

発行所：東京都商工会連合会 〒190-0012 東京都立川市曙町3-7-10 多摩中小企業振興センター内 発行人：桂 教夫
TEL 042-525-6821 FAX 042-525-0899 <http://www.shokokai-tokyo.or.jp/> 印刷所：明誠企画株式会社



多摩地域の観光シンポジウム 左は総評を述べる桂教夫顧問



「こだいらサミット」 円内は主催者挨拶をする神石實会長

ないよう

- ◆ 平成19年度国家、都予算・制度で自民党都連へと、都議会各派へ要望
- ◆ 多摩観光協議会がシンポジウムを開催
- ◆ 「全国商工会 会員福祉共済」にご加入下さい!!
- ◆ 「親と子の上手なつきあい方」でサミット 小平商工会
- ◆ 手作りのコンサートに盛り上がり 日野市商工会
- ◆ 多摩・島しょ地域のイベント

多摩地域の観光シンポジウム、「こだいらサミット」

多摩観光協議会は10月5日、「多摩地域の観光、集客・交流に関するシンポジウム」を開催しました。同シンポは協議会の設立来、最初の大きなイベント。内容も5つの事例紹介、須田寛 J R 東海相談役による講演と盛りだくさんであるとともに、須田相談役からは多くの提案が行われました。一方、9月16日に小平商工会が開いた「第2回こだいらサミット」では「親から叱られたことは大人になってから良く分かるんだよ」という、子供達に向けた発言に、会場はグッとくるものを感じていました。(3、5面参照)

届け!! 27商工会、3万4千会員の総意 平成19年度国家、都予算・制度で要望



自民党都連へと、都議会各派へ

要望は二十七商工会、三万四千会員の総意であり、都・国家予算のいづれにも理解を示してほしいものです。当連合会は九月七日、東京都議会自由民主党、同公明党、同民主党を訪ね、平成十九年度都予算・制度等について要望を行いました。また、同十三日は自由民主党東京都支部連合会へ行き、同国家予算・制度等について要望をしました。桂教夫会長、石川昌宏、平畑文興、神石實門井豊秋各副会長、坂爪正二専務理事、山崎宮治事務局長らがそれぞれの聴取会に出席、小規模事業者の事業の健全なる発展が東京都の活力維持に不可欠として十九年度の都予算、国家予算に反映するよう求めたものです。都議会各派の聴取会では十項目を、自民党都連では八項目を要望しました。

国家予算の要望

一、三位一体改革に伴い移譲された事業等の確実な執行の担保について 小規模事業対策は、国がナショナル・ミニマムとして実施すべき施策であることに鑑み、今後とも、予算面、制度面で国が

積極的に関与するよう要望する。

二、国直轄の補助事業の拡充強化について 国直轄予算として措置されている「小規模事業者新事業全国展開支援事業」や「JAPANブランド育成支援事業」等の全国的見地から実施されている事業の拡充強化を要望する。特に、3年間程度継続事業として実施できるよう要望する。

三、政府系金融機関の統廃合と中小企業融資の充実強化について 新機関に移行されるにあっても、それぞれの機関の持つ機能を最大限に生かす方策を検討し、利用者である地域の中小業者の声を反映した政府系金融機関の果たす機能と役割の充実強化を図ることを要望する。

四、新規創業者に対する金融支援策の拡充について ①国民生活金融公庫等が取扱う「新創業融資制度」をより多くの者が利用し、創業できるよう自己資金要件を緩和すること②「創業塾」の全過程を修了した者に対する優遇措置、例えば、特別利率の適用や要件緩和を行うこと③金融機関における低利融資、自治体による利子補給制度等創業に対する金融支援を拡充すること。

五、横田基地の軍民共同利用について 近隣の地域住民に対する騒音対策等を推進すると共に地元の理解と協力を前提として、横田基地の軍民共同利用の早期

実現を要望する。

六、まちづくりと地域経済の活性化について 「まちづくり三法」の改正趣旨を踏まえ法の適正な運用を図ると共に、地域の関係者に対して理解を深め、円滑に対応できるよう周知活動等を徹底されるよう要望する。

七、圏央道と東八道路の早期開通について 国と都の緊密な連携のもと首都圏中央連絡自動車道(圏央道)のあきる野IC以南の早期開通と東八道路の早期全面開通の実現を要望する。

八、事業承継税制の拡充について わが国においても「事業用資産に対する一〇〇%課税免除」、「相続時精算課税制度の拡充」、「相続税・贈与税の税率引き下げと累進構造の見直し」等、中小企業事業承継を円滑にするための制度強化に引き続き取り組むこと。

都予算の要望

一、商工会等に対する補助金の安定的確保について 「小規模事業経営支援事業費補助金」については、今後、都道府県の裁量に基づく小規模事業対策として実施されることとなり、東京都におかれましては、小規模事業対策の重要性を深く認識され、これまでどおり確実に予算措置を行うと共に商工会等の機能の充実強化を図るため、東京都に於いて実施している業

務の委託を要望する。

二、シナジースキーム事業の導入に伴う商工会の財政負担について

商工会の活性化のためには本事業の導入に一定の理解はできるものの、現下の財政困難な折、過度な自己負担にならないよう制度運用を要望する。

三、まちづくりと地域経済の活性化について(国要望参照)

四、駐車場の確保に関する支援措

置の創設について 個店や商店会等の駐車場確保対策・既設来客用駐車場の運営経費に対する支援策を創設されるよう要望する。

五、多摩地域の産業振興拠点施設の設置について 多摩地域は区部に比べ、中小企業を支援する施設の整備が遅れており、文化、産業・経済の振興・発展の場としてのコンベンションホール機能を有した産業拠点施設の設置を要望する。

六、横田基地の軍民共同利用について(国要望参照)

七、三宅村中小企業者への支援について 平成十九年度に対しては次の支援策を措置されるよう要望する。①金融支援の弾力的運用と充実②相談指導業務に向けての助成措置

八、多摩都市モノレールの早期延伸について 一日も早い箱根ヶ崎への延伸を実現されるよう要望する。

九、小笠原諸島の産業振興について ①小笠原諸島世界遺産登録の推進②小笠原空港の早期開設

十、駅ナカ商業施設と周辺商業者との公平公正な競争環境の確保について 固定資産税の格差を是正するなど、公平公正な競争条件を整備し、周辺商業者との共存共栄が図られるよう配慮を要望する。

講演で須田JRR東海相談役が

“マルチ観光地”への脱皮を提案

多摩観光協議会がシンポジウムを開催

多摩観光協議会は十月五日、立川市内のホテルで「多摩地域の観光、集客・交流に関するシンポジウム」を開きました。多摩地域の商工会、会議所、関連団体、行政などから約百七十人が参加、磨けば光る多摩

の観光”との認識のもと、どのように取り組めば多摩地域の観光と集客・交流を活発化させ、拡大させていけるかを探りました。

シンポジウムでは榎崎彰男会長(八王子商工会議所会頭)が「各地

才神会長は石原慎太郎知事から表彰状を授与されました。大変、おめでとうございます。



才神芳美 東久留米市商工会会長が
東京都知事表彰を受賞
才神芳美東久留米市商工会会長(当連合会理事)は産業振興に寄与した功勞が認められ、東京都から東京都功勞者表彰を受賞されました。表彰式が十月二日、都庁第一本庁舎で行われ、

《才神芳美氏の略歴》昭和56年5月東久留米市商工会理事、平成元年5月同副会長、平成7年5月同会長。平成2年全国商工会連合会長表彰、平成3年東京都商工会連合会長表彰、平成4年関東通商産業局長表彰をそれぞれ受賞。(才神貴金属工業代表取締役。70歳。

域が連携、特性を生かして集客・交流、情報発信をすることができたら多摩がより活性化、魅力的な地域として発展する」と主催者挨拶、米原亮三東京都産業労働局観光部参事が「地域が主体的に取り組む観光街づくりの実践が益々重要となってきた」と来賓挨拶をしました。続いて、協議会がまとめた、多摩地域の観光活性化のための提言とプランを示した調査について報告が行われ、さらに、当連合会の坂爪正二専務理事が協議会の十八年度事業について中間報告を行いました。

東村山市の三商工会がそれぞれの観光への取り組みを紹介。この紹介を受けて須田寛JRR東海相談役が「多摩地域の観光の未来について」をテーマに講演をしました。須田相談役は多摩地域を「全国区の観光地に早く脱皮をさせていかなければならない」と話し、そのためには「東京に來たビジネス客を多摩に呼んでビジネス兼観光をさせる、東京の人に長期滞在をさせる、全国から多摩を目的に長期滞在をさせるなどのマルチ観光地に脱皮させることだ」とし、「そうやってきたときここが大きな観光地に発展する」と述べました。最後に協議会の桂教夫顧問(当連合会会長)が「観光産業をどう立ち上げるか、その意欲が芽生え、動き出したなということを実感させられたい」と総評、シンポを終えました。

高水準補償の「全国商工会

会員福祉共済」にご加入下さい!!

キャンペーン展開で4倍に加入を拡大 当連合会 商工会

高水準の補償が得られる「全国商工会 会員福祉共済」に加入されることを是非、お勧めします。当連合会、商工会は同共済を平成十八年度中に二千七百口を新たに増やして、約四倍に拡大するキャンペーンを展開しています。キャンペーンは九月から始めており、来年二月末まで続けます。当連合会、商工会ではこの期間、様々な取り組みをして新規加入を増やしていきますので加入にご協力をお願い致します。

「全国商工会 会員福祉共済」は身近な日常の事故によるケガに対して手厚い補償を提供することに重点を置いた制度です。同共済は傷害に対する補償のみですが、死亡共済金（Aタイプ、「不慮の事故」の場合で八百万円）、入院・通院一日当たり（Aタイプ、「不慮の事故」の場合で八千円、通院が三千円）が比較的高く、しかも入院は一日目、通院は三日目から給付されます。また、同共済は

①掛金・共済金は年齢・性別・職種に関係なく一律②手術にも手厚い補償③国内外・二十四時間フルカバーなどの特色があります。

種類はA（満六〜六十五歳）、B（満六十六〜八十歳）、C（満六〜六十五歳）の三タイプがあり、掛金

多摩全域で創業を後押し

ブロックごとに創業支援セミナーを開催

創業支援セミナーが今、真っ盛りです。多摩地域の二十一商工会は多摩北部、北多摩西、北多摩南、西多摩の四ブロックに分かれてブロックごとに創業支援セミナーを開くこと



北多摩西の創業支援セミナー

はAとBが月額二千円、Cが同一千円です。(イ)商工会の会員とその家族(ロ)商工会の会員の従業員とその家族の方が入会できます。

目標の二千七百口は各商工会の目標を積み上げたものです。商工会ではそれぞれに加入促進の方法を決めるとともに全会員に案内、チラシなどを配布して加入を強く呼び掛けていきます。

加入や問い合わせはお近くの商工会で対応させていただきます。

になり、最も早いブロックは九月三日にスタートをさせました。このほかのブロックも順次、スタート。最も遅いブロックが終了するのは十一月末になります。当連合会もこの間に、起業を目指す女性を対象に創業塾を開催。商工会は今、このように多摩全域で創業を後押ししています。

独立、起業、開業を目指す人に開業の手続き、財務の知識、ビジネスプランの作り方など必要なことを各分野の専門家や実務家が教える支援セミナーは従来、主に当連合会を中心に実施してきました。それを今年

度からブロックがそれぞれに企画を立ててその責任で実施することにしたものです。

開催場所が広がった分、創業の知識や実務を教えてもらいたいというニーズにきめ細かに応えられると期待しています。応募状況はブロックによって異なりますが、早くから定員に達し、申し込みを断るといってブロックも出ています。

創業支援セミナーの主催者ごとの計画は次の通りです(カッコ内の地名は商工会名、①日程②会場)。

▽北多摩南(三鷹、小金井市、狛江市、調布市、稲城市)①九月二十七日から十一月二十九日まで水曜日ごとに十回②三鷹商工会館

▽多摩北部(小平、清瀬、西東京、東村山、東久留米)①九月二十三日から十月七日までの土曜、日曜ごとに五回②東村山市民センター

▽北多摩西(昭島市、国分寺市、日野市、国立市、東大和市、武蔵村山市)①九月三日から十月一日までの日曜日ごとに五回②「アレアラ2」(立川市)

▽西多摩(あきる野、福生市、羽村市、瑞穂町、日の出町)①十月二十九日から十一月二十六日までの日曜ごとに五回②あきる野ルピア

▽当連合会①十月十日から十月二十八日までの火、木、土を基本に八回②三鷹産業プラザ

「大事なことは互いが信頼しあう事」 「親と子の上手なつきあい方」 をテーマにサミット 小平商工会

小平商工会は九月十六日、市内の小平市福祉会館で「親と子の上手なつきあい方」をテーマに「第二回こ

「商工会も商売や儲かることばかり考えていたのではない。何か地域のことをやって商工会もやるぞ」と示さなければいけない」と話しました。また、昨年に続いて子供をテーマとしたことについては「昨年、終わった後に『あれは良かった』という有り難い声をもらった。そこで小平から子供に関する犯罪、事故を徹底して無くそうと今年ももう一回やろうということになった」と述べました。

オープニングを盛り上げたのが「小平よさこい踊り」。続いて市内で体操倶楽部を開いているバルセロナオリンピックの銀メダリスト、池谷幸雄氏が基調講演を行いました。池谷氏は体操人生を紹介。この中で「大事なのは体を動かして将来をつくること。体を動かすことを忘れると健康でいられなくなるのでどこか

おかしくなる」と体づくりの大切さを訴えました。

サミットに当たっては市民参加企画として論文「親の言い分・子の言い分」を募集。パネルディスカッ

特産品の販路開拓とともに観光資源をPR 「全国ふるさと見本市2006」を開催

シヨンは主にこの論文に書かれていた「あいさつ」や、「親は子供の言うことを聞かない。子供を信用していない」という指摘について子供の代表、親の代表、市長、英国人の有識者、青年会議所のトップら九人が意見を交わしました。「子供を信用していない」という問題については子供からは「やろうと思っ

全国商工会連合会、都道府県商工会連合会、市町村商工会は十一月二十八、二十九の両日、東京・池袋の池袋サンシャインシティで「全国ふるさと見本市2006」を開きます。百貨店やスーパーのバイヤー、ホテル・レストラン・飲食店・酒販店

この全国物産展は直接、消費者にPRをすることに主眼を置いてきました。これに対し「全国ふるさと見本市2006」は、商工会員の魅力ある商品流通関係者を対象にPRをします。当連合会からはニッポンの食と技エリアにあきる野商工会、特産品・観光

11月28、29日に
池袋サンシャインで

など約一万人を集めて小規模事業者が開発した特産品の販路を開拓するとともに、地方の観光資源をPR、地域経済の活性化、自立化へと繋がります。

この時期、三者は従来、ニッポン全国むらおこし展として「全国物産展」を開いてきました。ただ、同見本市では即売はしておりませんので、全国物産展のように展示品を買い求めることはできません。

デザインセンターをオープン 東京都立産業技術研究センター

ところで言われるとやる気を無くす、一方、親からは「子供はやっぱりしからなければダメだ」、「信用しているから言っている」などの意見が出され、最後にコーディネーターが「大人は子供を信用し、子供は親を信頼する。その関係が大事」と全体をまとめました。これらを受けてサミットでは共同宣言を採択、発表を

東京都立産業技術研究センターは九月十三日、同センターの西が丘本部にデザインセンターをオープンしました。同センターは「デザイン」という言葉を広く捉え、意匠に加えて機能、構造、安全性などの設計について総合的に中小企業の製品開発を支援していくこうとするものです。具体的にはものづくりにおける商品企画・マーケティングのセミナーや意匠（プロダクトデザイン、グラフィックデザイン）、製品設計、解析、高速試作までを支援します。センターはデザイン支援室、CAD/CAD室、高速造形室などで構成されています。



心が一つになった手作りのコンサート

◎：「商工会館でこういうことができるというところが凄かった」、「手作りであり、しかも年配の方に喜んでいただいていた」として幸せだった」。お酒や抓みのから揚げは会員の酒屋さんや肉屋さんが手配、チケットの販売も主に会長、副会長、部長らの役員が担った、手作りのコンサートの成功に日野市商工会の役職員の皆さんが感激に浸っています。

◎：しかも出演したのは自分の書いた歌詞

手作りのコンサートに盛り上がり 身近なもの同士の交流を実現

日野市商工会

が小学校の校歌にもなっているほどの実力を持ち、その実力ぶりが仲間の間では良く知られた同商工会の佐藤誠二事務局長。まさにあれもこれも手作りといわけます。佐藤局長が披露したのは自身が通勤途上に日野の自然に触れてつくった「カワセミの歌」などの「日野の歌」。九月十日の日曜日に開催し、八十人もが集まりました。

◎：発案者の井上敏夫会長がコンサートに最も期待したのが身近なもの同士の交流です。

同会長は「地域商工業者と市民の和やかな交流が実現した。この交流がさらに、進展すれば会員の掘り起こしにもなり、良い面を提供してもらえるようにもなる」と述べています。「クレープ & Shift」という、ユニットの演奏などもあり、皆がリズムを踏むなどの盛り上がりを見せた交流に同商工会では「今度は絵や書道で」と早くも次のプランを話しています。

「認知症の人が安心して暮らせるまち」に

東京都が11月から キャンペーンを展開

協賛団体・企業を募集

東京都は、十一月から平成十九年一月までの三カ月間、「認知症の人が安心して暮らせるまち・東京キャンペーン」を展開します。より多くの都民・事業者が、認知症を身近な問題として捉え、地域における支援について考えてもらおうとの狙いです。

都では、この期間中に①東京都主催イベント「認知症の人が安心して暮らせるまち・東京を目指して」の開催②ポスターの作成・掲示③パネルの作成・展示④協賛団体・企業の募集・紹介⑤地域での取組事例の募集・紹介⑥認知症サポーター養成講座の開催

日から五日までの三日間、都庁で講演会やシンポジウムなどを開きます。②では認知症への理解を求めるポスターを区市町村、協賛団体・企業などで掲示します。③では認知症についてのパネルを他団体などのイベントに貸し出します。④ではキャンペーンの趣旨に賛同し、取組に協力してもらえらる団体・企業を募集します。⑤では住民や事業者などによる取組を募集します。⑥では協賛団体・企業などが行う認知症サポーター養成講座の開催を支援します。なお、④と⑤の取組は福祉保健局ホームページで紹介されます。

認知症による何らかの症状を持つ都内の高齢者は約二十三万人（六十五歳以上人口の約一割）と推計されています。都では都民や日常生活に密着した様々な事業者が認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を支える手だてを知ってほしいが『尊厳ある暮らし』を皆で守ることができると考えています。

人事交流

【退職】（8月31日）調布市・一般
岩田恵美子

（9月30日）武蔵村山市・補助員
井村百合

もっと知ろう 認知症
考えよう 一人ひとりができること



座の開催
支援を行
う予定で
す。

①では
十一月三

商工Q&A

Q 小規模工場の経営者です。息子もなく、還暦を迎え、廃業するか、事業継続かで悩んでいます。順調な業績で廃業は惜しい気がします。何か良い方法がありますか。(A社長)

後継者に悩む中小企業の解決法は？

A 全国小規模企業の経営者の平均年齢は五十七歳、後継者が決まっている企業は四割程度というデータがあり、事業承継問題は深刻です。一般的に、事業承継方法には、次の三つがあります。第一は親族内承継で、全体の六割を占めます。この方法は、取引先など社内外に受け入れられやすい一方、後継者の経営能力や意欲に不安があります。

第二は従業員、または外部からの雇い入れです。身内に適任者がいない場合、社内外から広く人材を求められますが、関係者の理解や株式取得の資金力などに難点があります。国の施策で「後継者人材マッチング促進」事業があり、人材を公募するのも



回答者
嘱託専門指導員
下地龍二郎

親族内承継など3方法

一法です。

第三は他社との提携、合併や買収の方法です。いわゆる広義のM&Aによる事業承継ですが、自社の要望(従業員雇用や企業価値評価)を満たす買い手を見つける難しさがあります。各々長短があり、検討に時間がかかりますので早めに次のような事業承継プランを立てましょう。

まず、自社の現状を客観的に把握することから始めます。①会社のヒト・モノ・カネ②社長自身の資産③後継予定者のリストアップなどの把握です。次に、親族内承継、従業員・外部雇い入れ、M&Aのいずれかの方法を確定し、後継者教育、株式・財産の分配など必ず訪れる具体的問題を盛り込んだ長期プランを作成し、着実に

実行することをお勧めします。

それぞれに長短 早めにプラン立案を

ここでは一番目の親族内で承継する具体策について説明します。後継者候補が多い場合は、極力早めに後継者を指名、本人の自覚を促して社内外での教育・経験をさせることが有効です。株式・財産の分配については、他の相続人に配慮しながら後継者へ集中させることが望ましく、株主総会で三分の二以上の議決権株式保有や、相続遺留分問題を避けた会社からの報酬による資産集中が有効です。株式分散対策には議決権および譲渡制限など規定措置を利用できます。さらには、後継者への財産移転として生前贈与や遺言の活用があります。撤回可能な遺言より生前贈与の方が確実といえます。最近、遺言の利用が増えていますが、自筆証書より公正証書の方が有効です。遺言信託で銀行業務に委ねる方法もあります。

以上、事業承継には、相続・税金・株式売却・登記・後継者教育などの専門知識が必要で、詳しくは、最寄りの商工会に相談し、各種の中小企業施策を活用してください。

中小企業の皆様！

退職金は **中退共** におまかせ下さい！！

中小企業退職金共済（中退共）制度は中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です。

- ★ 掛金の一部を国が助成します
- ★ 掛金は全額非課税です
- ★ 管理が簡単です
- ★ 適格退職年金制度から中退共制度に移行できます



独立行政法人勤労者退職金共済機構

中小企業退職金共済事業本部（中退共）

〒105-8077 東京都港区芝公園 1-7-6

TEL 03-3436-0151 FAX 03-3436-0400

東京退職金相談コーナー

〒105-8077 東京都港区芝公園 1-7-6

TEL 03-3436-4351 FAX 03-3433-4078



東村山市民産業まつり

見て 食べて 楽しもう!!

多摩・島しょ
地域のイベント

大特集 Part12 (11月-12月)

日 程	イベント名	会 場	内 容	問合せ先	
11月	1日(水)~19日(日)	逸品フェアお買物ラリー	一店逸品参加店舗	応募用紙に参加3店舗のスタンプを集める。抽選でお買物券が当たる。	武蔵村山市商工会 042-560-1327
	3日(金、文化の日)~5日(日)	天下市	大学通り緑地帯	商業謝恩祭(チャレンジキッズ=子供企業家発表会、「買って当てよう」、くにたちカードポイント抽選会、リサイクル工作教室など)	国立市商工会青年部 042-575-1000
	3日(金、文化の日)~5日(日)	第37回羽村市産業祭	富士見公園	ステージイベント、即売ほか。	第37回羽村市産業祭実行委員会 (羽村市産業振興課) 042-570-0144
	4日(土)~5日(日)	第18回日の出町産業まつり	日の出町民グラウンド	地元商店の出店販売。農産物・特産物の直売など約100店が出店。一般参加者のステージショー。子供たちが楽しめるイベント。	日の出町産業まつり実行委員会 (日の出町経済課工商観光係) 042-597-0511
	4日(土)~5日(日)	第10回商工まつり	東大和市役所庁舎周辺	市内商工業者による模擬店、ステージイベント、フリーマーケットほか。	東大和市商工会 042-562-1131
	5日(日)	第6回黄金井名物市	東小金井北口商店会 市立第3小学校	ビジネスコンテスト、市内の名物、名産、商店会紹介	第6回黄金井名物市実行委員会 042-381-8765
	5日(日)	第5回商店会ウォーキングラリー	商店会8カ所	市内の商店会を順次回り、商店、商店会の良さを消費者に再認識してもらう。	小金井市商工会商業部会 042-381-8765
	5日(日)	国分寺まつり	都立武蔵国分寺公園	商工まつり、農協まつり、市民まつり	国分寺まつり実行委員会 (市、文化コミュニティ課) 042-325-0111
	11日(土)~12日(日)	第27回東久留米市市民みんなのまつり農業祭・商工祭	東久留米駅西口 ~市庁舎ほか	芸能アトラクション、模擬店、神輿	東久留米市商工会ほか 042-471-7577
	11日(土)~12日(日)	第36回瑞穂町産業まつり	瑞穂町役場周辺	各種団体の出展、農畜産物の展示、模擬店、フリーマーケット	瑞穂町産業まつり実行委員会 042-557-3389
	11日(土)~12日(日)	第12回あきる野市産業祭	都立秋留台公園	市内生産品等の展示販売	第12回あきる野市産業祭運営委員会 042-558-1867
	11日(土)~12日(日)	第45回市民産業まつり	東村山市役所駐車場	・商工、農畜産、各種団体、友好都市などの出店PR販売・特設ステージにおけるアトラクション・農産物品評会、山車、みこし	東村山市商工会 042-394-0511
	11日(土)~12日(日)	第38回昭島市産業まつり	昭島市民会館・公民館	市内の商業・工業・農業の生産品や商品の展示・販売、食べ物、一店逸品、親子ものづくり体験の各コーナー等。特設ステージにおけるアトラクション	第38回昭島市産業まつり実行委員会 042-544-5111
	11日(土)~12日(日)	第6回西東京市民まつり	西東京いこいの森公園	市民パレード、野外ステージ(太鼓、踊り、演劇、キャラクターショー等)商工、農業、団体、姉妹都市などの出店	市民まつり実行委員会 (西東京市生活文化課内) 042-464-1311
	11日(土)~12日(日)	第40回日野市産業まつり	日野中央公園ほか	展示・即売、工業展(10日~12日)、農業展、アニメキャラクターショー、ポニーと散歩、よさこいほか。	日野市産業まつり実行委員会 (日野市商工会) 042-581-3666
	11日(土)~12日(日)	産業まつり	小平市福祉会館周辺	市内産業・物産展示、販売	小平商工会 042-344-2311
	12日(日)	第30回狛江市市民まつり	狛江市民ひろばほか	商工祭、農業祭、文化祭	狛江市商工会 03-3489-0178
	18日(土)	日帰りハイキング	三原山噴火口まわりコース	熱海から10:35に大島へ 帰りは16:00に熱海へ往復ジェット船で45分 宿泊もできます。	東海汽船株 03-5472-9999
	23日(木)	第14回神津島村商工業まつり	神津島開発総合センター	佐久市物産展 海の幸・山の幸物産展・抽選会など	第14回神津島村 商工業まつり実行委員会 04992-8-0232
	26日(日)	第32回伊豆大島パブリックマラソン大会	大島町の道路	コースはハーフ・10km・5km	(社)大島観光協会 04992-2-2177
26日(日)	商店街まつり in Fussa パート3	福生駅西口通り及び銀座通り	大道芸を中心とした各種イベント、出店等	福生市商工会 042-551-2927	
12月	2日(土)~3日(日)	第9回御神火ツアー	・三原山を中心とした山道コース ・海岸道路と牧場コース	1日目20km・30kmコース 2日目20km・13kmコース	(社)大島観光協会 04992-2-2177
	9日(土)	ひので朝市	ひのでグリーンプラザ駐車場	・商業部会員らによる即売会 ・普段、お店で販売している商品を格安で提供します。	日の出町商工会 042-597-0270